
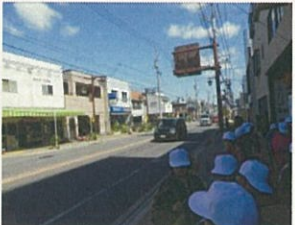






愛知県岡崎市立愛宕小学校

(様式4-2：平成30年度 モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる学校支援制度
実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称： 新学習指導要領の社会科での交通の学習と交通を利用した学習の展開					
2. テーマ： バス・鉄道を使った体験型社会科学習					
3. 実施教科： 社会科・総合的な学習の時間・特別な教科道徳					
4. 関連単元：主に3年社会「わらしたちのまち」「はたらく人と私たちの暮らし」 「かわってきた人々の暮らし」					
5. 実施単元数：単元数4 授業時間数22時間					
6. 学年	小3	7. クラス数	1学級	8. 生徒数	27人
9. 実施内容と学習の流れ (1) 交通に関わる環境整備の理解と交通マナーや交通ルールを学ぶ学習 ・実際に交通機関を利用して、体験的に交通利用に関わる工夫やサービスを理解する。支払いについては、切符をはじめ名古屋鉄道ならばIC電子カードmanacaの利用があること、団体なら団体割引などがある場合があることを学ぶ。また公共交通機関を使った学習にあわせて、自転車を始めとした交通手段、バスなどの交通機関を実際に利用する際の公共のマナーやルールがあることも学ぶ（講師内田さん）。					
					
内田さんの交通安全教室		学区の道路利用の学習		バス利用学習	
ICカードmanaca利用 ・9月に、名鉄バスや名鉄電車の複数路線を經由利用し、額田町のわんParkへ行った。公共のマナーに加え路線に関わる学習ができた。移動の間も含め、学区の土地利用と額田地区の自然を活かした土地利用の違い、昔からの生活習慣を学んだ。					
					
移動バス車内の様子		わんParkでの自然を利用した土地利用の学習		資料室での花もちの写真	

(2) 交通についての学習の展開

・市の土地利用と交通の広がりについての理解を、実際の交通を利用して体験した。上記の(1)でのバス移動を始め、公共交通機関利用時には、バスの車窓から交通環境整備(交通網の広がり)の様子を確認し、利用時の切符利用やICカード利用、標識の意味などの違いを学んだ。



移動バス車窓学習 運賃システムの違いの体験(ICカード・切符等) IRと名鉄での標識学習

・新学習指導要領では「時代の違い」という時代による違い・変化を調べる学習がある。そこで学区在住で、待ちの移り変わりの写真を撮り続けてきた、木全さんを10月に招いた交通の歴史の授業も行った。また昔の馬車鉄道跡を歩いたり、線路の名残を学区を歩いたりして学習した。また「まちバス」「市バス」を利用し、近隣のスーパーなどへ行き、販売・製造の工夫や苦勞についての学習をした。



木全さん昔の交通の学習 馬車鉄道の跡を歩く スーパーマーケット見学 まちばす乗車利用

(3) 交通を使った公共施設学習の展開

・地域の生活空間での調査、公会堂、消防署、警察署等の公共施設など、古くから必要とされてきた建造物や歴史博物館などの学習を行った。例年なら、教室内での教科書を使った授業で終了してしまうが、本助成のおかげでバス路線を利用して、施設見学を通じた学習を実施できた。しかも今年は、県東部の中心である豊橋市までバスと鉄道、市電を同時利用し公共交通機関の違いや重要性などを体験的に学んだ。



名鉄電車利用

豊橋鉄道市電乗車利用

豊橋市公会堂で集合写真

JR 東海道線乗車

10 成果と課題

- ・従来の教室や学区の学習に比べ、体験重視の楽しく分かりやすい学習ができた。
- ・電車やバスを利用することで移動時間を短縮でき、今年は豊橋市(東三河)まで範囲を広げた学習ができた。車窓から見える風景の変化や在住する岡崎市(西三河)との違い(文化・言葉のなまりなど)も確認することができた。
- ・学習指導要領で示されている、時代での変化や交通の仕組み、利用のルールなども交通機関を何度も利用したことから、「体で覚える」ことができたと考えている。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

